

7 字 監 第 20 号

令和 7 年 8 月 20 日

宇美町長 安 川 茂 伸 殿

宇美町監査委員 平 島 忠 雄

宇美町監査委員 安 川 禎 幸



令和 6 年度宇美町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の審査意見
について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 233 条第 2 項及び宇美町監査基準（令和 2 年告示第 1 号）第 15 条の規定により審査に付された令和 6 年度宇美町国民健康保険特別会計歳入歳出決算を審査したので、別紙のとおり意見書を提出する。

令和 6 年度 宇美町国民健康保険特別会計歳入歳出決算審査意見書

1. 審査の対象

令和 6 年度 宇美町国民健康保険特別会計歳入歳出決算

2. 審査の時期

令和 7 年 7 月 17 日、8 月 7 日（2 日間）

3. 審査の着眼点

歳入歳出決算書、同決算事項別明細書及び実質収支に関する調書（以下「決算書等」という。）が、関係法令に準拠して作成され、計数に誤りはないか、予算執行及び財政運営は適正に行われているかなどを審査した。

4. 審査の実施内容

宇美町監査基準の規定に基づき、町長から送付された決算書と審査資料との照合点検を行うとともに、関係職員からの聴取、決算値の推移、他自治体との比較などを行い、審査を実施した。

5. 審査の結果

審査に付された決算書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確で、予算執行及び財政運営も適正であると認められた。

6. 決算の概要

(1) 総 括

令和 6 年度宇美町国民健康保険特別会計の歳入歳出決算は、

歳 入 総 額	38 億 223 万 5,894 円
歳 出 総 額	36 億 9,566 万 377 円
歳入歳出差引額	1 億 657 万 5,517 円

翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、1 億 657 万 5,517 円の黒字となっている。この実質収支から前年度の実質収支 6,226 万 542 円を差し引いた単年度収支は 4,431 万 4,975 円の黒字となっている。この単年度収支から国庫支出金などの前年度及び翌年度精算額（見込額）、財政調整基金積立額などの黒字要素、赤字要素を加減した実質単年度収支は 2,671 万 2,562 円の黒字となっている。

(2) 歳入の状況

歳入総額は、前年度比 2 億 2,939 万 9,711 円 (5.7%) 減であった。

歳入が減額となった主な要因は、被用者保険の適用拡大や団塊の世代が後期高齢者医療へ移行したことにより被保険者数が減少したため 1 款国民健康保険税が減少したこと、同様の理由で被保険者数が減少し保険給付費が減少したため 4 款県支出金が減少したこと、前年度分の普通交付金の交付超過分の精算金である保険給付費等交付金償還金に充てる 6 款繰越金が減少したことが挙げられる。

(3) 歳出の状況

歳出総額は、前年度比 2 億 7,371 万 4,686 円 (6.9%) 減であった。

歳出が減額となった主な要因は、前述のとおり被保険者数が減少したため、2 款保険給付費が減少したことなどが挙げられる。

7. 審査の意見

国民健康保険税の一人当たりの課税額については前年度と比較して 3,348 円の増となったが、課税総額としては約 1,600 万円の減となっている。

一方、歳出 3 款国民健康保険事業費納付金が被保険者数の減少により減額となった。保険税全体の収納率が前年度を上回ったことなどにより、令和 2 年度から引き続き基金へ積み立てることができている。基金残高としては、同規模の市町村の平均程度として適正な金額が確保されている。

収納については、現年度分収納率は 94.96% で前年度比 0.09 ポイント減、滞納繰越分収納率は 19.51% で前年度比 1.89 ポイント増となり、現年度と滞納繰越分を合わせた全体分では前年度比 2.07 ポイント向上している。収納率が向上した主な要因は、マイナンバーを活用した被保険者資格の適正化及び現年度優先徴収による滞納繰越額の圧縮、ファイナンシャルプランナーによる納付相談などの取組の効果である。引き続き収納率向上に取り組まれるとともに、糟屋地区内の収納体制などを分析し、体制の強化を図っていただきたい。

保健事業費については、医療費適正化推進室において、国保医療費の適正化に向けた医療費分析を実施された。今後の分析効果に期待したい。

特定健診等未受診者対策業務についても、職員の創意工夫がみられ、受診率も 40% を上回り過去最高となった。また、特定保健指導業務なども積極的に行われ

ている。

被保険者の方々が安心して適切な医療を受けることができるよう、引き続き収
納率向上と医療費適正化を図り、安定的かつ持続的な制度運営に取り組まれない。